

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公表番号】特表2005-536727(P2005-536727A)
 【公表日】平成17年12月2日(2005.12.2)
 【年通号数】公開・登録公報2005-047
 【出願番号】特願2004-529909(P2004-529909)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 1/00 (2006.01)
B 0 1 J 19/00 (2006.01)
G 0 1 N 35/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 1/00 1 0 1 K
 B 0 1 J 19/00 3 2 1
 G 0 1 N 35/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月25日(2006.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項44

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項44】

請求項43の試料分配方法であって、前記スロット付き端部はX形である試料分配方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項48

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項48】

マイクロ液体分析システムであって、

複数の格納容器を含む少なくとも1つの液体試料格納装置と；

毛管作用を利用してマイクロ液体試料を目標格納容器に移送する少なくとも1つの移送ピンを有するマイクロ液体ディスペンサであって、前記移送ピンの一端は前記目標格納容器の開口と協働するように構成されたピン先端を有するマイクロ液体ディスペンサと；

前記移送ピンが前記目標格納容器と協働して前記試料を移送できるように前記マイクロ液体ディスペンサを配置させるディスペンサ配置モジュールと；
 を含んでなるマイクロ液体分析システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項51

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項51】

請求項48のマイクロ液体分析システムであって、前記目標格納容器は前記試料を引き付ける親水性の壁を含むマイクロ液体分析システム。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 2】

請求項の 4 8 ミクロ液体分析システムであって、前記目標格納容器は疎水性材料によって囲まれた開口を含むミクロ液体分析システム。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 3】

請求項 4 8 のミクロ液体分析システムであって、前記ミクロ液体ディスペンサは、複数の試料に対応する複数の目標格納容器に移送する複数の移送ピンを含む移送ピンアレイを含むミクロ液体分析システム。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 5】

請求項 6 0 のミクロ液体分析システムであって、前記移送ピンアレイの少なくとも 1 つの移送ピンは、1 つの目標格納容器の開口に整合するために独立して位置決め可能であるミクロ液体分析システム。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 8】

請求項 4 8 のミクロ液体分析システムであって、前記移送ピンは前記目標格納容器の前記開口よりも大きい直径を有するミクロ液体分析システム。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6 1】

請求項 4 8 のミクロ液体分析システムであって、前記格納装置は前記複数の格納容器から前記試料が蒸発するのを制御する制御措置を使用するミクロ液体分析システム。